



元気いっぱい、笑顔いっぱい、社会に出ることを心待ちにした児童がそろう学校

朝霞第二小だより



【学校教育目標】 進んで学習する子(知) 仲良く助け合う子(徳) 健康で明るい子(体)

〒 351-0007 朝霞市岡3丁目16番13号 TEL048-461-0042
令和4年 12月1日 (12月号) 児童数 710名 (11/29現在)

心も体も のびる芽を支える

～「風の子マラソン」「いじめ防止月間」～

校長 宮腰 高子

先日、「風の子マラソン」を実施しました。運動会同様、3年ぶりの実施でした。保護者や地域の皆様にはご理解とご協力を頂き有難うございました。長いコロナ禍で日常生活も含め運動の機会が極端に減っています。大人は、コロナ禍以前に運動の経験があるため、運動の楽しさを知っています。体を思い切り動かし汗をかく爽快感、競い合ったり協力したりして関わり合う面白さ、根気強く練習することで自分の成長を感じたりし目標を達成する喜び等、運動には沢山の魅力があります。そして、運動の習慣化は日本の健康長寿の秘訣の一つでもあります。しかし、子供たちは、この楽しさを十分に味わうことなく成長著しい時期を過ごしてしまったこととなります。「風の子マラソン」の基になっている「持久走」は、自分の体調や体力をつかみ、長い時間自分のペースを保って運動し続けることで体力を高める学びとなります。withコロナとして動き出した今、学校の体育的活動において、子供たちに適切な学びの場を用意し、体力をつけると共に運動の楽しさを味わえるように取り組んでいるところです。



↑「風の子マラソン」スタートの様子

さて、朝霞市では、10・11月を「いじめ防止月間」と定め、いじめ防止に向けた取組を各学校で実施しました。いじめの定義は「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」（いじめ防止対策推進法）とされています。いじめはいつの時代にもありましたが、特に現代のいじめの特徴として挙げられるのは、①SNS等により発見が難しい ②加害者の罪悪感が極めて薄い ③悲惨な結果を生む場合が多いことです。学校から児童一人一人に貸与したタブレット端末はこれからの時代に必要な学習道具ですが危険とも隣り合わせになっているといえます。そこで、これまでとは違った切り口での指導も進めています。また、保護者や地域の皆様と協力して取り組む必要があります。本校では、人権尊重の精神を基盤に『いじめはどこでもだれにでも起きる、早期発見・即時対応、100%解消に取り組み被害者を守り通す』という前提に立ち、全教育活動を通して「いじめをしない!させない!許さない!!」指導に努めています。しかし、学校生活の中で、何気ない言動により相手を傷つけている場面を見受ける時があります。心も体も成長途中の子供たちという視点で、「人のいやがることはしない・言わない・認めない」を、その場でしっかりと教え諭すようにしています。自分の行為が悪ふざけやちょっとした意地悪と考えていじめているという意識がなかったり、複雑な要因が絡み合ったトラブル、陰湿で分かりづらかったり、いじめの発見を難しくしている場合があります。日頃からの温かい学年・学級づくり、子供の変化を見逃さないきめ細かな日常観察と併せて、全学年全学級で「いじめアンケート」も実施しております。

本校学校ホームページの【学校紹介】内には本校の「いじめ防止基本方針」等が載っていますのでご覧ください。気になることがありましたら、ためらわず担任や学校にご連絡くださるようお願いいたします。未来に向かって「のびる芽」を共に支えていきましょう。

えびあ 笑顔あふれるあたたかい学校宣言

わたしたちは、「ほこり」ある二小のなままで。

わたしたちはいじめをゆるしません

ゆるしません
見て見ぬふりをしません

わたしたちは自分を見つめ正しい判断、正しい行動をします。

令和4年度 朝霞第二小学校いじめ防止推進コンクール 優秀作品

- ・ぼくはせつたいしないよ じぶんはなれていやなこと (1年生 代表児童)
- ・いじめなんて ぼくのアルシングで かっ飛ばす! (2年生 代表児童)
- ・けんかせず ころもたかな かっこうに (3年生 代表児童)
- ・その言葉 消しゴムみたいには けせないよ (4年生 代表児童)
- ・いじめゼロ みんな毎日 笑顔の日 (5年生 代表児童)
- ・おもいやり つなぐリレー 未来へと (6年生 代表児童)
- ・いじめのね 手をストップして 仲間! (あなう学級代表児童)

二小はいじめをゆるしません